

- 東京スカイツリー®に超多心平型エレベータケーブルを納入
- 1x4ポート波長選択スイッチの量産を開始
- 第12回光通信技術展(FOE2012)／第5回レーザー加工技術展 出展報告、JECA FAIR 2012(第60回電設工業展)
- 第42回国際電子回路産業展(JPCA Show 2012)

ケーブル
・機器

東京スカイツリー®に 超多心平型エレベータケーブルを納入

今年5月22日に開業する東京スカイツリー(高さ634m)の東京スカイツリー天望デッキ向けエレベーターと業務用エレベーターに当社の光ファイバ複合超多心平型エレベータケーブル150心が採用されました。

これらのエレベーターは東芝エレベータ製(計6台)で、4台の40人乗り、分速600mのシャトルエレベーターは地上から東京スカイツリー天望デッキまで350mを約50秒で運行します。また日本最長の昇降行程(464m)となります。2台の業務用エレベーターにも同ケーブルを納入。このケーブルの長さは280mで、当社として過去最長の吊り長さとなります。

当社はこれまで中国・広州市の高さ600mとなる広州塔(Canton Tower)、台北市の超高層ビル「TAIPEI101」(高さ508m)、上海市の超高層ビル「上海環球金融中心(SWFC)」(高さ492m)の展望用エレベーター(シャトル)に採用されており、高屈曲性能とケーブル非自転性による安定した動特性を実現し、エレベーターの高速化、安心・安全性、快適性に貢献しています。



東京スカイツリー



光ファイバ複合超多心平型
エレベータケーブル150心の据付け状況

1x4ポート波長選択スイッチの量産を開始

当社は、米国ニスティカ社⁽¹⁾との協業により開発した、1x4ポート波長選択スイッチ⁽²⁾の製造、販売を開始します。本製品は、既に販売している1x2ポート波長選択スイッチの主機能を踏襲し、マルチリングネットワークへの適応を実現します。

現在のROADM⁽³⁾ネットワークでは光ファイバはリング状に敷設されています。光ファイバには複数の波長が多重化されています。各局舎では必要とする帯域に応じた数の波長を取り出し、データをやりとりしています。

今後、通信需要の増大にともない、光ネットワークは単一リングから複数のリングが組み合わさったマルチリングに発展します。リングの接点にあたる局舎では隣接リング接続用の出力ポートが必要となります。1x4ポート波長選択スイッチはそのような領域への適用をも目指したもので、従来の1x2ポート波長選択スイッチを発展させた商品です。

1x4ポート波長選択スイッチの特長

- 光チャンネルモニタを同一筐体に収納可能です。(オプション)
- スイッチ部にDLP^{®(4)}を採用し、高信頼性、高安定性を実現しています。
- あらゆる波長間隔に対応可能です。
- 小型、省電力です。

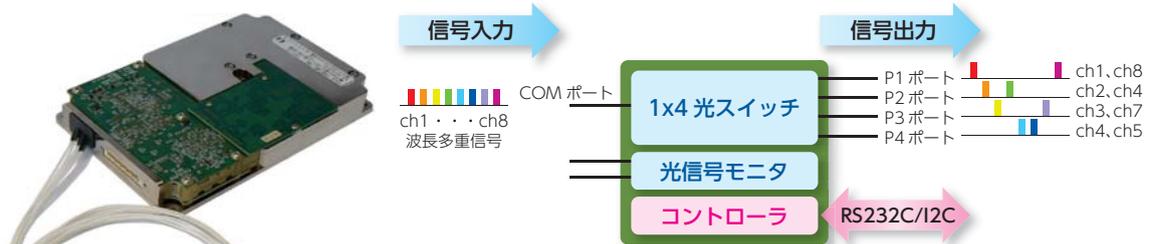


図1 1x4ポート波長選択スイッチ機能ブロック図

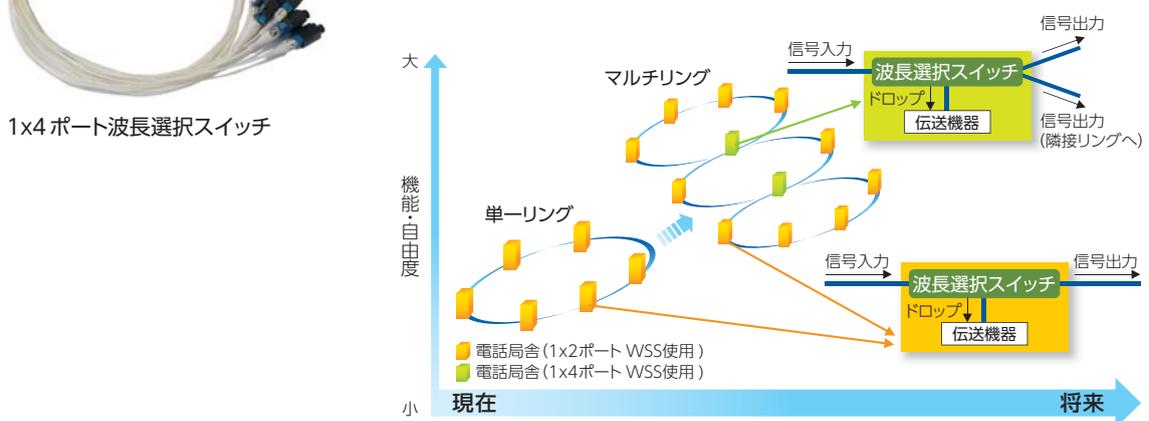


図2 ROADM ネットワークの発展

[1] ニスティカ社: 本社は米国ニュージャージー州ブリッジウォーター、2005年設立、2012年4月に当社が経営権を取得することで合意しています。ニスティカ社の詳しい情報は次のURLをご参照下さい。 <http://www.nistica.com/>

[2] 波長選択スイッチ: 入力信号を自由なチャンネル(波長)の組み合わせで任意のポートに出力する光スイッチです。

[3] ROADM: Reconfigurable Optical Add/Drop Multiplexerの略。遠隔操作で再構成可能な、光信号の分岐/挿入/通過を行う多重化システムのこと。大容量リングネットワークで主流。波長選択スイッチはキー部品です。

[4] DLPはテキサス・インスツルメンツ社の商標登録です。

第12回光通信技術展 (FOE2012) 第5回レーザー加工技術展 出展報告

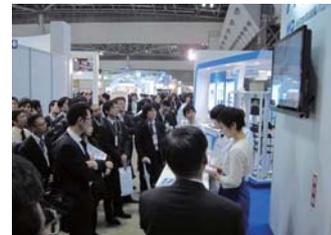
4月11日(水)～13日(金)に東京ビッグサイトでおこなわれました第12回光通信技術展に、情報通信部門及び西日本電線(株)の製品の中から、選りすぐりの製品を出展しました。

今回最も注目を集めたのは、ブース中央に配置した、2架の19インチラックです。片側のラックでは、パッチパネル、MPOやLCのコネクタモジュール類、トランクケーブル、パッチコードなどを実装し、データセンタ内の配線技術を紹介、もう一方のラックではデータセンタ外との伝送装置類であるトランスポンダやトランシーバを実装、展示しました。

デモンストレーションコーナーでは、ドロップ光ケーブルの中間接続が可能となった、融着接続機「FSM-11R-C」や、光コネクタ端面上に付着した汚れを、工具先端を押し込むだけで清掃できる、光コネクタ用クリーナ「One-Click® Cleaner」の実演を行い、毎回たくさんの人だかりができていました。



注目を集めた19インチラック



デモンストレーション風景

光機器・システム事業部 E-mail:optfsm@fujikura.co.jp

展示会

JECA FAIR 2012 (第60回電設工業展)

日時 2012年5月30日(水)～6月1日(金) 10:00～17:00
(初日は10:30～17:00、最終日は10:00～16:00)

場所 インテックス大阪 3・4・5号館(フジクラブース 4-89)

JECA FAIR 2012は、電気設備用機器、資材、工具などのメーカー、販売業者が一堂に会する電設業界における最大の展示会です。

今回は「スマート技術で社会貢献 ～未来都市づくりへのチャレンジ～」をテーマに掲げています。

当社は西日本電線(株)、(株)フジクラ・ダイヤケーブルと共同で出展し、ケーブル型アンテナWBLCX®、高圧ケーブル活線絶縁診断装置LINDAなどのメタルケーブル製品、および電気自動車用急速充電コネクタ、風力発電機用ケーブル機材などの配電部品展示に加え、光融着接続機のデモンストレーションの展示を行います。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



メタルケーブル事業部 E-mail:mc-info@fujikura.co.jp



第42回国際電子回路産業展 (JPCA Show 2012)

日時 2012年6月13日(水)～6月15日(金) 10:00～17:00
場所 東京ビッグサイト 東5ホール(フジクラブース 51-22)

当社は、東京ビッグサイトで開催される第42回国際電子回路産業展のプリント配線板技術展に出展します。

JPCA Show 2012は、プリント配線板技術展、半導体パッケージング・部品内蔵技術展、機器・半導体受託生産システム展の3部門からなる、国内最大規模のプリント配線板関連の展示会です。

本展示会では、電子機器のデザイン性向上用に注目されている透明FPC、高密度・高精細なセミアディティブFPC、電子機器の更なる小型、薄型に貢献する部品内蔵基板WABEパッケージ、薄くフレキシブルなフィルムアンテナ、世界に先駆けて認証取得したUSB3.0ケーブルアセンブリ、スマートフォンやタブレットになくてはならないタッチパネル・タッチセンサ、今後ますます市場の拡大が予想されるヒューマンアシスト向けのメンブレン応用新製品などをご紹介します。

また、当社のグループ会社である第一電子工業(株)からは、驚異的な超低背、超狭小ピッチでありながら、バックロック方式により高い信頼性を実現したFPC用コネクタなどをご紹介します。

なお、マイクロエレクトロニクスショーおよびJISSO PROTEC、ラージエレクトロニクスショーもあわせて開催されます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



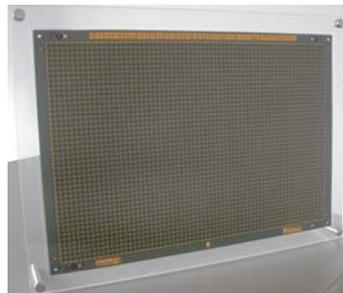
透明FPC



タッチパネル



USB3.0ケーブルアセンブリ



WABEパッケージ

電子部品開発センター E-mail: askfpc@fujikura.co.jp

株式会社フジクラ 〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1 TEL:03-5606-1112 FAX:03-5606-1501

●発行:2012年5月 No.370 ●編集兼発行責任者:和田 朗

URL <http://www.fujikura.co.jp>

関西支店 TEL.06-6364-0373 中部支店 TEL.052-212-1880 九州支店 TEL.092-291-6126
中国支店 TEL.082-211-3600 東北支店 TEL.022-266-3344 北海道支店 TEL.011-231-8551
北陸支店 TEL.0766-28-6551 四国支店 TEL.087-825-2740 沼津営業所 TEL.055-923-1111



本印刷で使用する
電力のうち1,000kWhは、
バイオマス発電でまかないます。



UD FONT ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。